

建設業経理士 1級財務分析 出題パターンと解き方 過去問題集&テキスト 12年9月・13年3月試験用(2012年5月28日 第7版第1刷発行) 正誤表  
 弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2013.3.8

ページ	該当箇所	誤	正	備考
建設業振興基金より発表された分析比率表の変更に伴い、第6回過去問題の第4問対策の解答および解説を以下のように改めました。				
2-78	問3 解答	710百万円	<b>725</b> 百万円	2013.03.8
2-78	問4 解答	62.24%	<b>61.05</b> %	2013.03.8
2-79	問3 変動費の算式	720百万円 - 10百万円 = 710百万円	720百万円 - 10百万円 <b>+15</b> 百万円 = <b>725</b> 百万円	2013.03.8
	問4 固定費の算式	250百万円 + 40百万円 + 15百万円 = 305百万円	250百万円 + 40百万円 = <b>290</b> 百万円	2013.03.8
	問4 損益分岐点完成工事高	$\text{損益分岐点完成工事高} = \frac{305\text{百万円}}{1 - \frac{710\text{百万円}}{1,200\text{百万円}}}$ $= \frac{305\text{百万円} \times 1,200\text{百万円}}{490\text{百万円}}$	$\text{損益分岐点完成工事高} = \frac{290\text{百万円}}{1 - \frac{725\text{百万円}}{1,200\text{百万円}}}$ $= \frac{290\text{百万円} \times 1,200\text{百万円}}{475\text{百万円}}$	2013.03.8
	問4 損益分岐点比率	$= \frac{1}{1,200\text{百万円}} \times \frac{305\text{百万円} \times 1,200\text{百万円}}{490\text{百万円}}$ $\times 100 \div 62.2448$	$= \frac{1}{1,200\text{百万円}} \times \frac{290\text{百万円} \times 1,200\text{百万円}}{475\text{百万円}}$ $\times 100 \div \mathbf{61.0526}$	
		損益分岐点比率→62.24%(小数点第3位を四捨五入)	損益分岐点比率→ <b>61.05</b> %(小数点第3位を四捨五入)	

ISBN978-4-7810-1424-1 C1034 ¥2000E